

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 株式会社 中央倉庫
 コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 湯浅 康平
 (氏名) 佐藤 廣次
 配当支払開始予定日

TEL 075-313-6151

平成20年12月8日

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	12,307	—	815	—	884	—	20	—
20年3月期第2四半期	12,073	3.0	922	△0.5	995	1.2	582	3.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	1.06	—
20年3月期第2四半期	28.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	38,112	31,758	31,758	31,758	83.0	1,610.00
20年3月期	38,443	32,111	32,111	32,111	83.2	1,627.65

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 31,638百万円 20年3月期 31,991百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	12.50	—	14.50	27.00
21年3月期	—	12.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,200	3.6	1,680	△5.3	1,780	△5.8	540	△49.5	27.48

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 20,064,897株 20年3月期 20,064,897株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 413,420株 20年3月期 409,928株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 19,653,793株 20年3月期第2四半期 20,105,703株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月23日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(11月10日)開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(3) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	25,200	3.4	1,640	△5.7	1,730	△5.9	510	△64.6	25	95

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題を背景とする米国経済の減速や、原油・原材料の高騰等の影響を受け、生産、輸出及び設備投資等が減少傾向になるなど景気の後退色を一層強めました。

物流業界におきましては、こうした経済動向を反映し、国内貨物では、倉庫業の入庫高は減少しましたが、保管残高は微増となり、運送業のトラック輸送量は減少しました。また、国際貨物では輸出入とも弱含みとなりました。一方、燃料価格上昇に伴うコスト増が収益を圧迫するなか、競争激化の状況は引き続き依然として厳しい環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、平成20年5月に滋賀支店湖東PDセンターD号倉庫の建築工事に着手（完成予定平成21年3月）し、7月には東京支店茨城営業所（仮称）A号倉庫の建築工事に着手（完成予定平成21年9月）しました。また、平成20年6月に大阪支店トランクルームサービス大阪店において、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格であるISO/IEC 27001:2005の拡大認証を登録するなど業務の品質向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は12,307百万円、営業利益は815百万円、経常利益は884百万円、四半期純利益は、通期の課税所得の見直しを行うとともに昨今の株価の動向を踏まえ、財務体質の健全化の観点から、投資有価証券評価損等に係る繰延税金資産を取崩したため、20百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

[倉庫業]

倉庫業におきましては、入出庫高は前年同期に比し減少しましたが、保管残高は増加しました。これらの結果、倉庫業の営業収益は3,012百万円、営業利益は374百万円となりました。

[運送業]

運送業におきましては、取扱数量は前年同期に比し増加し、営業収益は6,178百万円、営業利益は524百万円となりました。

[国際貨物取扱業]

国際貨物取扱業におきましては、梱包業の取扱数量は前年同期に比し横ばいとなりましたが、通関業の取扱数量は大幅に増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は3,160百万円、営業利益は261百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ330百万円減の38,112百万円となりました。これは主に、固定資産の建設仮勘定が586百万円増加しましたが、建物及び構築物が392百万円、及び投資有価証券が542百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ22百万円増の6,354百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれております設備関係支払手形が293百万円増加しましたが、流動負債の未払法人税等が113百万円、及び固定負債の繰延税金負債が59百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ353百万円減の31,758百万円となりました。これは主に、利益剰余金が264百万円、及びその他有価証券評価差額金が80百万円減少したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ、0.2ポイント減の83.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動におけるキャッシュ・フローで825百万円の増加、投資活動におけるキャッシュ・フローで607百万円の減少、財務活動におけるキャッシュ・フローで194百万円の減少となり、当第2四半期連結会計期間末には5,092百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費による増加と法人税等の支払による減少によるものであり、825百万円となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得のための支出によるものであり、607百万円となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、主に、配当金の支払いによるものであり、194百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、当初計画を下回る水準で推移しました。通期の見通しにつきましては、日本経済は欧米を中心とする世界経済減速に伴う輸出の減少や、資材価格の高騰による企業収益圧迫等が懸念され、予断を許さない状況で推移するものと思われまます。物流業界におきましては、生産拠点の海外移転や物流効率化の進展により国内総物流量の大幅な伸びは期待し難いなか、競争激化の状況となっており厳しい経営環境が続くものと予想されます。

こうした状況のもと、当社グループは中期経営計画に実現に向けて取り組み、より一層の経営の効率化と経営基盤の拡充に努める所存であります。

なお、平成20年5月23日の決算発表時に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（11月10日）開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却の方法

定率法（建物については租税特別措置法に規定する割増償却を含む）を採用している有形固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,492,695	5,469,265
受取手形及び営業未収入金	3,567,626	3,612,771
貯蔵品	15,432	12,552
繰延税金資産	147,039	178,204
その他	471,573	402,498
貸倒引当金	△410	△820
流動資産合計	9,693,957	9,674,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,030,496	12,423,263
機械装置及び運搬具（純額）	557,917	560,153
土地	9,126,690	9,126,690
建設仮勘定	586,005	—
その他（純額）	121,900	131,387
有形固定資産合計	22,423,009	22,241,494
無形固定資産	26,714	27,853
投資その他の資産		
投資有価証券	5,566,175	6,108,848
その他	449,702	412,676
貸倒引当金	△46,561	△21,669
投資その他の資産合計	5,969,316	6,499,855
固定資産合計	28,419,040	28,769,203
資産合計	38,112,998	38,443,674

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,298,646	1,292,870
短期借入金	1,710,000	1,640,000
1年内返済予定の長期借入金	540,400	523,000
未払法人税等	370,058	483,783
賞与引当金	241,521	274,300
役員賞与引当金	12,400	21,500
その他	709,398	560,303
流動負債合計	4,882,423	4,795,757
固定負債		
長期借入金	491,000	486,000
繰延税金負債	825,362	884,785
退職給付引当金	32,207	40,359
負ののれん	10,558	12,183
その他	113,221	113,278
固定負債合計	1,472,350	1,536,606
負債合計	6,354,774	6,332,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	25,917,049	26,181,168
自己株式	△507,326	△503,646
株主資本合計	30,407,824	30,675,623
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,232,308	1,312,736
為替換算調整勘定	△1,232	2,990
評価・換算差額等合計	1,231,076	1,315,727
少数株主持分	119,322	119,959
純資産合計	31,758,223	32,111,310
負債純資産合計	38,112,998	38,443,674

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業収益	12,307,610
営業原価	11,131,635
営業総利益	1,175,974
販売費及び一般管理費	360,089
営業利益	815,885
営業外収益	
受取利息	3,407
受取配当金	57,593
受取家賃	5,948
負ののれん償却額	1,624
持分法による投資利益	12,767
その他	12,732
営業外収益合計	94,074
営業外費用	
支払利息	23,383
その他	2,215
営業外費用合計	25,598
経常利益	884,361
特別利益	
固定資産売却益	2,127
投資有価証券売却益	2
特別利益合計	2,130
特別損失	
固定資産除却損	1,686
固定資産売却損	69
投資有価証券評価損	156,826
特別損失合計	158,581
税金等調整前四半期純利益	727,909
法人税、住民税及び事業税	353,963
法人税等調整額	351,139
法人税等合計	705,103
少数株主利益	1,927
四半期純利益	20,878

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	727,909
減価償却費	585,853
負ののれん償却額	△1,624
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24,482
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,779
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,100
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△21,481
受取利息及び受取配当金	△61,001
支払利息	23,383
持分法による投資損益 (△は益)	△12,767
為替差損益 (△は益)	△117
投資有価証券評価損益 (△は益)	156,826
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2
固定資産除却損	956
固定資産売却損益 (△は益)	△2,057
営業債権の増減額 (△は増加)	45,144
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,879
その他の資産の増減額 (△は増加)	△89,371
営業債務の増減額 (△は減少)	5,775
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△66,443
その他の負債の増減額 (△は減少)	△21,514
小計	1,249,189
利息及び配当金の受取額	64,439
利息の支払額	△24,121
法人税等の支払額	△464,341
営業活動によるキャッシュ・フロー	825,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△400,000
定期預金の払戻による収入	400,000
有形固定資産の取得による支出	△540,579
有形固定資産の売却による収入	6,107
投資有価証券の取得による支出	△70,344
投資有価証券の売却による収入	8
その他	△3,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△607,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	70,000
長期借入れによる収入	420,000
長期借入金の返済による支出	△397,600
自己株式の増減額 (△は増加)	△3,680
配当金の支払額	△282,005
少数株主への配当金の支払額	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194,041

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

現金及び現金同等物に係る換算差額	117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,430
現金及び現金同等物の期首残高	5,069,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,092,695

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

項目	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物取扱業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	2,991,152	6,115,768	3,160,689	12,307,610	—	12,307,610
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	21,213	22,246	—	43,460	△43,460	—
計	3,012,366	6,178,014	3,160,689	12,351,070	△43,460	12,307,610
営業利益	374,156	524,259	261,158	1,159,574	△343,688	815,885

(注) 1. 事業区分は営業収益の集計区分によっております。

2. 各事業の主な業務は以下のとおりであります。

倉庫業 : 倉庫、賃貸等

運送業 : 貨物利用運送、貨物自動車運送

国際貨物取扱業 : 梱包、通関等

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

海外営業収益は、連結営業収益の10%未満であるため、海外営業収益の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 営業収益		12,073 100.0
II 営業原価		10,824 89.7
営業総利益		1,248 10.3
III 販売費及び一般管理費		326 2.7
営業利益		922 7.6
IV 営業外収益		
1. 受取利息	3	
2. 受取配当金	53	
3. 負ののれん償却額	1	
4. 持分法による投資利益	14	
5. その他	25	98 0.8
V 営業外費用		
1. 支払利息	22	
2. その他	2	25 0.2
経常利益		995 8.2
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	0	0 0.0
VII 特別損失		
1. 固定資産除却損	1	
2. 固定資産売却損	0	2 0.0
税金等調整前中間純利益		993 8.2
法人税、住民税及び事業税	420	
法人税等調整額	△13	406 3.4
少数株主利益		3 0.0
中間純利益		582 4.8

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	993
減価償却費	603
負ののれん償却額	△1
貸倒引当金の増加・減少 (△) 額	21
賞与引当金の増加・減少 (△) 額	△5
役員賞与引当金の増加・減少 (△) 額	△10
退職給付引当金の増加・減少 (△) 額	△28
受取利息及び受取配当金	△57
支払利息	22
持分法による投資損失・利益 (△)	△14
為替差損・益 (△)	△0
固定資産除却損	1
固定資産売却損・益 (△)	0
営業債権の減少・増加 (△) 額	△43
たな卸資産の減少・増加 (△) 額	1
その他資産の減少・増加 (△) 額	△138
営業債務の増加・減少 (△) 額	△1
未払消費税等の増加・減少 (△) 額	61
長期未払金の増加・減少 (△) 額	△13
その他負債の増加・減少 (△) 額	14
小計	1,405
利息及び配当金の受取額	60
利息の支払額	△23
法人税等の支払額	△298
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,144
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△400
定期預金の払戻による収入	400
有形固定資産の取得による支出	△1,336
有形固定資産の売却による収入	2
投資有価証券の取得による支出	△100
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,434
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	100
長期借入れによる収入	340
長期借入金の返済による支出	△321
自己株式の減少・増加 (△) 額	△9
配当金の支払額	△251
少数株主への配当金の支払額	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0
V 現金及び現金同等物の増加・減少 (△) 額	△433
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,409
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	4,976

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

項目	倉庫業 (百万円)	運送業 (百万円)	国際貨物 取扱業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	3,108	6,087	2,877	12,073	—	12,073
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	20	19	—	40	△40	—
計	3,129	6,106	2,877	12,113	△40	12,073
営業費用	2,778	5,567	2,537	10,882	268	11,151
営業利益	351	538	340	1,231	△308	922

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

海外営業収益は、いずれも連結営業収益の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。